



# グリーンハイツ地区福祉委員会 第5次地区福祉計画



## 地区の特徴

川西市北部に位置する、人口約13,799人（R5/3/31）の大型開発団地で（1965年開発開始・戸建て住宅中心）、高齢化率は40.8%と市内でも1～2の高率です。

健康で活発な高齢層が多く、現在、158名（令和5年度登録委員数）が地区福祉委員として6つの部会で活動を展開、毎月の役員会で各部会の活動状況を共有しています。

毎日（月～金）開設している居場所や、相談窓口、生活支援としての家事援助、定期的に開催する高齢者や乳幼児の集いなど、高いボランティア意識に支えられた地域密着の多彩な福祉活動を継続展開しており、これからも地域の安全・安心に寄与する取り組みとして充実を目指していきます。

一方、地域課題には、コミュニティや自治会と一緒に「オールグリーンハイツ」で取り組む体制も機能しており、今後は、高齢化や人口減少に対し、ともに生きる新たな地域づくりのために、地域資源を洗い直し、関係機関・団体との協議で、必要で豊かな福祉体制を構築していきます。

## グリーンハイツ地区の人口、世帯数、高齢化率

### 福祉目標

人口などのデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



地域に根付いた福祉のまちづくり  
～「認め愛 支え愛」のネットワークを～  
ふだんの くらしが しあわせ

## 地区の重点事業

重点1 居場所の充実と拡充

重点2 高齢者のくらし

重点3 認知症対策等の促進

重点4 人材育成・発掘

重点5 とともに生きるために

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇居場所の充実と拡充
  - ・居場所（現3か所）の増設及び利用するための移動手段の確保
  - ・イベント開催は公園が参加しやすい
  - ・松風幼稚園の跡利用で児童館を開設しては？
  - ・居場所すまいで見守り担当が不足
- ◇高齢者のくらし
  - ・ふだんからの見守りが必要
  - ・能力を持った高齢者の把握が必要
  - ・地域事業に元気な高齢者しか参加できていない
  - ・地域の活性化のために大学生との連携が必要
- ◇認知症対策の促進
  - ・サポーター養成講座の参加者が少ない（特に若い世代）ため、多面的な参加呼びかけが必要
  - ・若い世代に高齢者への関心や連携をすすめる
  - ・認知症検査の受診がすすまない
- ◇人材育成・発掘
  - ・若い世代の参加を促すには休日、夜間の開催を考える
  - ・子ども対象のイベントで親の関心を高める
  - ・SNSで発信すると関心が広まるのでは？
  - ・ボランティアは有償が必要では？
  - ・高齢者の知識・能力を引き出すために「人材バンク」を設立する
- ◇ともに生きるために
  - ・障がい児・者の理解が不足している
  - ・家庭・子どもの貧困についても目を向けるべき
  - ・当事者の立場に立った支援が必要
  - ・障がい者を交えた車いす体験が必要



## 第4次地区福祉計画からの課題 （平成30年度～令和5年度）

- ◇居場所・つながり
  - ・期間中に2か所の居場所を増設したが、更なる増設や移動手段の検討が必要
  - ・運営を支えるボランティアの確保
- ◇高齢者のくらし
  - ・地域や人とのつながりの強化が必要
  - ・高齢者が活躍できる場及び自立のための事業の検討
- ◇成年後見制度の普及
  - ・制度の理解を深めるための出前講座の開催が必要
- ◇人材発掘・育成（福祉人材）
  - ・若年層の参加が少ない
  - ・委員の高齢化、役員不足

## 福祉ネットワーク会議メンバー

- ①グリーンハイツ地区福祉委員会
- ②民生委員・児童委員
- ③主任児童委員
- ④緑台・陽明コミュニティ協議会
- ⑤多田グリーンハイツ自治会
- ⑥緑台地区補導委員会
- ⑦緑台地区青少年育成市民会議
- ⑧陽明小学校
- ⑨緑台小学校
- ⑩陽明小学校PTA
- ⑪緑台小学校PTA
- ⑫NPO法人「成年後見センター・川西」
- ⑬NPO法人「さわやか北摂」
- ⑭緑台地域包括支援センター



グリーンハイツ地区福祉委員会



事務局	委員会の運営・男の料理教室・広報紙の発行
在宅福祉部会	子育て・一人暮らし高齢者の集い ・なんでも相談（月～金）の実施
たすけあい部会	高齢者対象の友愛訪問・各種サロンの開催
ふれあい部会	世代間交流の場提供、自治会行事への協力
障がい者部会	ともにふれあい学びあう活動の場を提供
いこい部会	居場所として週5日間オープン（10時～16時）
家事援助部会	援助を必要とする家庭への支援、車いすの貸出し

## 現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議
- 年末福祉餅つき大会（世代間交流）
- 男の料理教室（高齢者の自立支援）
- 「居場所いこい」「すまいる」「コミュニティサロン」の管理・運営
- 漢字ドリル同好会（障がい者交流）
- おしゃべり会（障がい者交流）
- このゆびとまれ（子育てひろば）
- 福祉の店（サマーカーニバル出店）
- やまびこ（なんでも相談）
- すみれ会、水曜会ほほえみサロン等高齢者の集い
- 家事援助（掃除、ごみ出し等の手助け）
- キャラバンメイトの活動支援（認知症サポーター養成講座等）
- 地域行事への協力
- 認知症セミナー、特殊詐欺被害防止講座など各種講座や研修会の開催
- 「福祉委員会だより」の発行（年6回）



子育てひろば  
「このゆびとまれ」



福祉カフェ「居場所 いこい」



サマーカーニバル



年末福祉餅つき大会



男の料理教室



一人ぐらし高齢者の集い  
「すみれ会」



車いす体験学習



認知症セミナー・ワークショップ



クリスマス音楽会



## 目的

地域の絆を強めるために世代を超えた場として充実させ、みんなが利用しやすい状況をつくる。

## 具体的取り組み

- 現在の居場所（既3施設）の拡大・充実を図るとともに空き家等を活用してみんなが利用しやすい状況をつくる。
  - ①子どもと高齢者を含む世代間交流の場となるよう検討する。
  - ②空き家等を活用して新たな居場所の増設を検討する。
  - ③居場所を管理する担い手を確保する。

## 目的

蓄積された高齢者の知識・技術のノウハウが活かせる仕組みを模索し、高齢者が生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指す。

## 具体的取り組み

- 見守り対策
  - ①各種団体との連携で情報を共有し高齢者の孤立を防止し、訪問型たすけあい活動を推進する。
  - ②高齢者の交流イベントや友愛訪問を継続し、充実・拡充を図る。
- 活躍できる場づくり
  - ・知識・能力を持った高齢者を発掘し、地域に活かせるよう仕組みを検討する。
- 地域活動参加の促進
  - ・地域活動に参加しやすいよう、移動手段の確保を検討する。

## 目的

認知症当事者およびその家族と地域が共生するための対策を促進する。

## 具体的取り組み

- 認知症の理解をすすめるためにきめ細かなサポーターの輪を広げる。  
（認知症サポーター養成講座の開催など）
- ともに暮らせる伴走型支援者を育成するため、社会資源との連携を強化する。
- NPO法人「成年後見センター・川西」との協力で成年後見制度の活用を促進する。



## 目 的

地域を担う人材を発掘し、育成する。特に若年層、男性にも参加をすすめる。

## 具体的取り組み

- 「人材バンク」（仮称）の設立を検討する。
  - ・ 潜在能力の活用が生きがいにつながり、福祉力・地域力の底上げが期待できる。
- 広く一般からの参画を促すためにSNS等を活用して地域の状況を積極的に広報する。

## 目 的

誰もが当たり前と一緒にいる地域を目指す。

## 具体的取り組み

- 多様な人たちがともしながり支えあう場をつくる。
  - ・ 障がい児・者との交流の場づくり
  - ・ 地域や、支援者相互の関係づくりをすすめる。
  - ・ 研修会やイベントを開催する。



## 地区別ワークショップ及び検討会議

	日 程	内 容
▷ 令和4年	7月 27 日 (水)	地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催
▷ 令和5年	5月 19 日 (金)	地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催
▷ 令和5年	10月 17 日 (火)	地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催
▷ 令和6年	1月 25 日 (木)	地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催
▷ 令和5年	11月 15 日 (水)	福祉委員会部会長会議内容説明・協議
▷ 令和5年	12月 20 日 (水)	福祉委員会部会長会議内容説明・協議

## グリーンハイツ地区福祉委員会事業一覧表

事業名	内 容 内容、回数、定期開催の場合は曜日	区分 新規・重点
居場所づくり事業	福祉カフェ「居場所 いこい」(月～金曜日)	
	新たな居場所づくりの検討	重点
	移動手段の検討	新規
相談事業	なんでも相談「やまびこ」(月～金曜日)	
福祉の基盤整備	福祉ネットワーク会議 (地区福祉計画策定 R6～R13 8年度分)	重点
人材発掘・育成事業	各世代への説明会・研修会	
	車いす体験学習(小中学校)	
	トライ・やるウィークに協力(緑台中学校)	
高齢者の交流	一人ぐらし高齢者の集い「すみれ会」(1回/年)	
	高齢者の集い「水曜会ほほえみサロン」(1回/月)	
	高齢者の集い「ふれあいサロン」(5回/年)	
世代間交流	年末福祉餅つき大会	
地域事業へ協力	サマーカーニバル、グリーンフェスタ(GH自治会主催)	
	防災訓練に協力(自主防災会主催)	
	体育祭、ぴいふるひろばに協力(コミュニティ主催)	
子育て支援事業	子育てひろば「このゆびとまれ」、クリスマス会	
障がい者支援事業	漢字ドリル同好会(2回/月)	
	遊ぼう会	
	地域での理解、支援をすすめるための講座など	重点
見守り事業	安否確認のための友愛訪問、電話訪問	
	つながりサポート事業の推進	新規
生活支援事業	家事援助	重点
	自立を助ける男の料理教室	
認知症対策事業	認知症サポーター養成講座(共催:キャラバンメイト連絡会)	重点
	行方不明高齢者捜索訓練(共催:キャラバンメイト連絡会)	
	認知症セミナーの開催	新規・重点
成年後見制度の普及	NPO法人「成年後見センター・川西」の活動に協力	重点
	各種組織・団体への説明会	
広報・啓発	「福祉委員会だより」を発行(6回/年)	

(2024年度現在実施分)

グリーンハイツ地区福祉委員会  
第5次地区福祉計画策定委員名簿

(順不同)

所属	氏名(敬称略)
グリーンハイツ地区福祉委員会 委員長	岡 康栄
グリーンハイツ地区福祉委員会 事務局長	難波 康晃
グリーンハイツ地区福祉委員会 事務局	田中 健夫
グリーンハイツ地区福祉委員会 事務局	中禮 悦子
グリーンハイツ地区福祉委員会 会計	近藤 明美
グリーンハイツ地区福祉委員会 在宅福祉部会長	前田 とよ美
グリーンハイツ地区福祉委員会 ふれあい部会長	高田 朋治
グリーンハイツ地区福祉委員会 いこい部会長	山本 嘉代子
グリーンハイツ地区福祉委員会 たすけあい部会長	工藤 千恵子
グリーンハイツ地区福祉委員会 障がい者部会長	冨田 啓子
グリーンハイツ地区福祉委員会 家事援助部会長	平井 みどり
緑台・陽明コミュニティ協議会 会長	高垣 久夫
多田グリーンハイツ自治会 会長	中村 英二

※所属と役職は策定当時のものです。